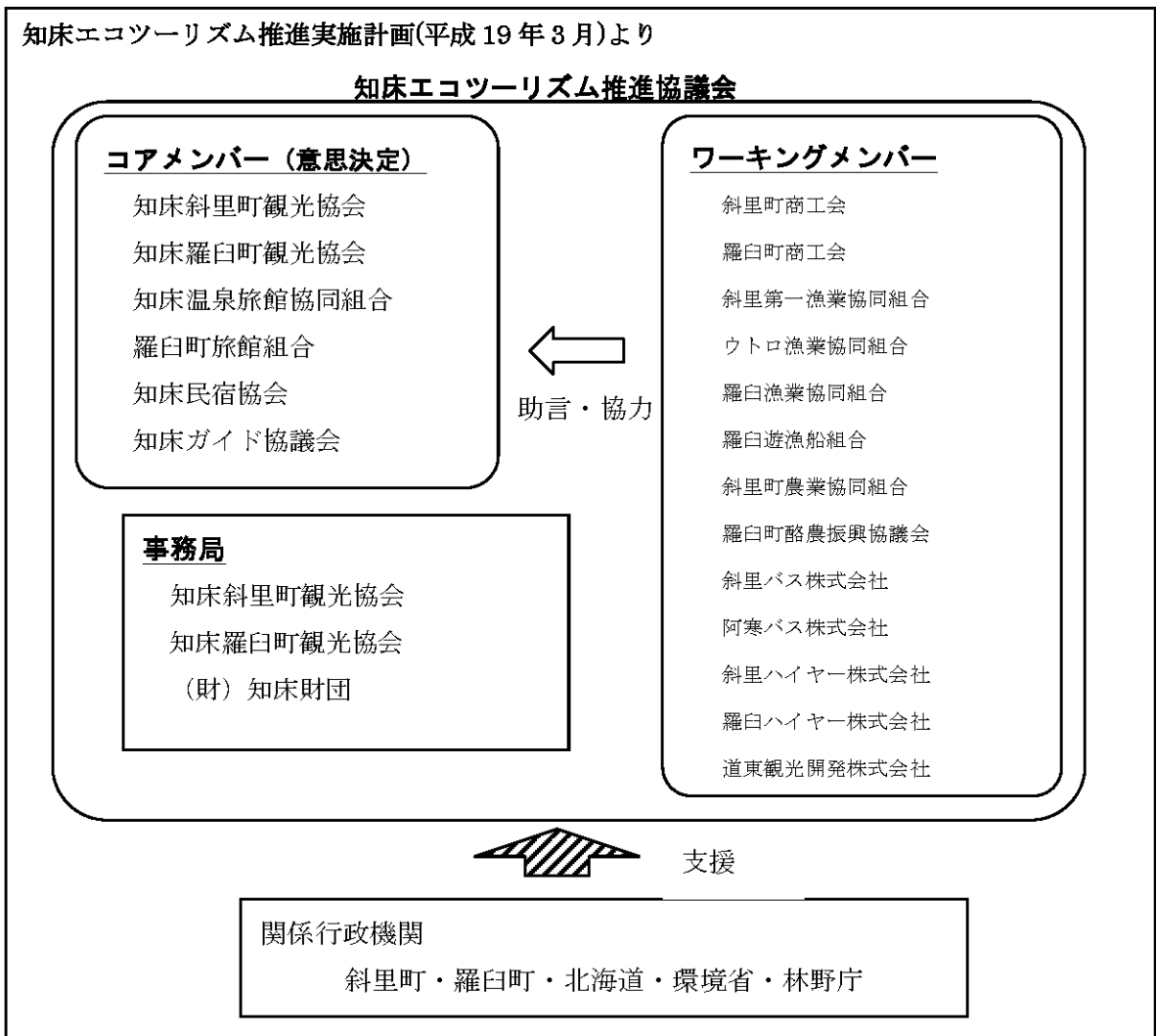


平成 19 年度 知床エコツーリズム推進協議会 活動状況

2007 年 10 月 29 日  
エコツーリズム推進協議会

1) 組織体制の変更

平成 16～18 年度まで実施されたエコツーリズム推進モデル事業において「知床エコツーリズム推進実施計画」を策定した。それに基づき、エコツーリズム推進協議会は組織改変を行い、以下のような体制に移行している。



2) エコツーリズム推進協議会の開催

今年度は推進協議会を 2 回開催済み(6 月 19 日、10 月 3 日)。組織改変に伴う会則の改定、各団体で取り組む事業(裏面参照)の確認などを行っている。

- ・ 推進協議会の開催は、斜里、羅臼両町の観光協会が交代で事務局を担当。
- ・ 推進協議会としての会計口座を開設し、補助金事業に取り組む。
- ・ 第 3 回推進協議会は 12 月 1 日に開催予定で調整中。

平成 19 年度 知床エコツーリズム関連事業の枠組み

実施主体	事業項目	事業内容	実施
知床斜里町観光協会	知床五湖の利用に関する検討	知床五湖遊歩道の利用の適正化へ向けて、将来的なビジョンの共有、手法の検討を行う。今年度の利用集中時期には利用者やエージェント等へ向けたルール・マナーの普及と情報提供により混雑緩和を図る。	△
	統一した情報発信機能の構築	パンフレットの作成・ツアーデスクの運営・地域のエコツーリズム素材の抽出・発信	○
	知床エコツーリズム推進協議会の運営	推進協議会の事務局運営	
知床羅臼町観光協会	地域発信型ツアーの企画・開発	ユニ捕りプログラム、スケソウダラ漁体験プログラムなど、漁業と連携したエコツアーの企画・実施	◎
	統一した情報発信機能の構築	パンフレットの作成・地域のエコツーリズム素材の抽出・発信	○
	知床エコツーリズム推進協議会の運営	推進協議会の事務局運営	
知床ガイド協議会	遊歩道利用に関する自主ルール・ガイドラインの運用	「知床エコツーリズムガイドライン」及び知床ガイド協議会による「遊歩道利用に関する自主ルール」を運用することにより、知床五湖遊歩道のスムーズな利用を促進する。	△
	ガイド講習会の実施	自然ガイドの知識・安全管理技術等の質の向上のための講習会を実施する。	
知床財団	遊歩道環境負荷モニタリング	知床五湖・羅臼湖などの歩道に関して、利用による植生破壊、土壌流失などの歩道劣化の影響のモニタリングを行う。今後継続的にモニタリングを実施するための手法の検討も行う。	○
	遊歩道利用状況調査	知床五湖・フレペの滝・羅臼湖などの歩道の利用構造、ガイド利用の割合、滞留時間等についての詳細な調査を実施し、適正な歩道利用の検討のためのデータとする。	○
	利用者意識調査	遊歩道利用者の混雑感・満足度等についての意識調査を実施し、適正な遊歩道利用の検討のためのデータとする。	○
	エコツーリズムの普及による地域への経済的影響の評価	滞在型観光の定着、利用の分散、地産地消の促進など、エコツーリズムの普及による地域への経済効果について分析・検証する。	○
	知床エコツーリズムガイドラインの運用	モデル事業中に策定した「知床エコツーリズムガイドライン」の運用と広報のため、パンフレットの作成・情報発信等を行う。また、地域における適正な運用を進めるための方策について検討を行う。	○
	知床エコツーリズム推進協議会の運営サポート	モデル事業中の流れを踏まえ、両町観光協会の事務局機能強化までの期間、推進協議会の事務局のサポートを行う。	○